

全
日
會
報

藤本優成

狀況

一九六六

キャンペーン・今日の課題

迅速に変貌する現象に対応し、彼（女）の回転をはじめる時は、私（君）の彼（女）の直面してゐる問題を彼（女）自身の課題とし、シッカリうけとめ同い合った時、目を認識していく方法から、彼

「キャンペー」ン総会」報告

展開していかねばならぬ。今日日本学生写真連盟はこの作業を一つの運動として展開し、この問題を乗り越えようとしている。そして各サークルも、各サークル員一人一人も、

「総会」報告

関東、中部、関西、中国以上六地区の代表委員の出席をもつて開催された。席上、各地区より一九六五年度キャンベーン活動即ち『状

と云つて、結果が言明されなかつた。その結果次のことが明らかにされた。引用文と写真の関係は本来、各々の思想の豊かな連帯を目指したものであったが、数個所引用文と写真が相殺し合う所があった。しかし、そのことを注意すれば、後は、より直接に理解できるかどうかが問題になるだけで、写真を理解できるならば、引用文の関係は立所の目的を達成出来得るということに意見が一致したのであった。この問題に次に、各地区から『状況一九六六』に対する要望が、提出された。要望の中で

原則と展開

65''
より
66''
へ

「自己」写真」という關係がそれだけで成立している關係かということである。何故なら、今私達が感じている現象は、「自分……自己」写真「パターン」として考えればこのよきなものを感ずる。そしてやはり、考えるのは、強くなることにすべての刀を傾けてきた私達に對する有効性とは何らなり得ないからなのだ。自己完結が終つてしまふ危険性があるのである。（自己完結はそのまま観念的にしか物事を考えなくなる）そして、自己完結がそのまま自己喪失として衰退してしまつて……。それで、真に現実的な強さを

原則と展開

65より66へ

が、真の現実的な力となり得る。現實を、世界を動かすことのできる大きな強さを持つたいと思つてくたが、今までの私達の強くなることの、写真を撮ることの姿勢は、あまりにも弱体であるといふことである。それは、自分に對する有効性が、そのまま、現実には、限らない自由と、その

自由を如何に敷用するかという自由があるだけである。私達がこれに従ふことであり、その自由を、如何に敷用するかということであり、自由に従つてしまふ。しかし、今、私達は、自分を見、限りなく開かれた砂漠のような現実を見なければならぬ。その時はじめて、私達は現実的な力となり得る類々を持つてゐるのであり、私達の写真もそのまゝ、現実を動かし得る写真となるのである。

※ ※

私達のまわりに一杯何かが押し寄せて来ているのが感じられる。

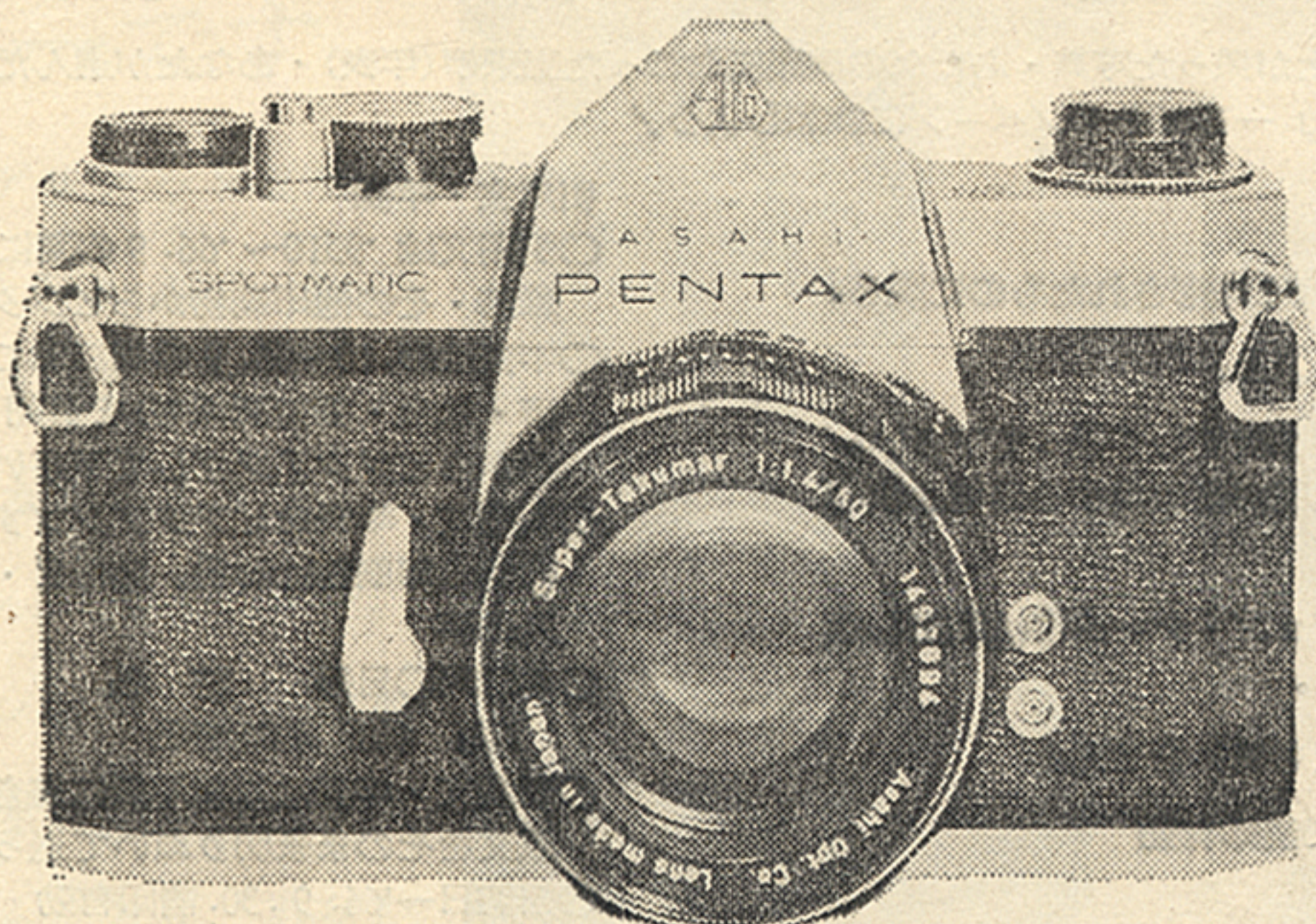
福島氏総会に出席す

サークルとしての問題が、授業料値上げの問題が、あるいは、学館問題が、そしてさまざまに日常的な事がらも含めて……、これらの諸問題に私達は、二つ一決定した態度をとらなければならぬ。

私達には写真がある。しかし、『授業料問題』、ソレ、写真を撮れ、という単純なパターンからは、決して何も生まれないことを私達は知っている。そんな写真には、私達も存在しなければ、他の誰も存在しないということを……一枚一枚のシャッターを押す必然性を考えることなしには、もはや私達の振るべき写真、生まれてこないということこそ、自分と現実とのかわりではなく、自分、すなわち現実、現実、すなわち自分という確実なパターンを、私達は私達のものにしなければならぬ。

私たちの顧問・福島辰夫氏は、5月28日より八王子市「高尾山荘」で開かれた。キャンペーン総会に出席され、状況一九六五の問題点も、一九六六における原則的な事を話し合った。また特に、各地区の写真に關する疑問点を代表委員もかなり深く話しあわれた。

なぜペンタックスが選ばれるか？



■カタログ進呈
東京都千代田区永田町1の29 旭光学Z N係

S2
55mm F2付 ¥29,000
ボデーのみ¥20,500 ケース¥2,400



ASAHI/PENTAX

— 私たちのために —

○たつた一行の文章であつても、
 (1)年表をどうつくるか、引用文を
 どう選ぶか？

れが私達にとつてかけがえのない意味をもつ。たとえば手帳に記された恋人とのデートの日、その日

レイアウト（編集）台宿は、選択台宿により選ばれた、写真・引用文・年表をもとに出版するための最終的に、レイアウトを行なうものです。

一枚々々の写真を、また、一つ一つ々の引用文を並べることは、見易くすることによって、さまざまな問題を提示するのと同じく、見る人にとつてのさまざまな問題を解明してくれるはずである。それを実現するのには、レイアウトは、写真と写真を、引用文と引用文をぶつけ合う。各々のレイアウトは、物事に対する考え方、感じ方が違ってくる。並べる写真も各々のレイアウトによって違ってくる。その違いを、ただ単に「違う」ということだけで終わらせるわけではなく、その「違い」を各々のレイアウト上の問題として、レイアウト同志で話しを進めていくのです。その話し合いが、言葉（言語）だけ

の日記。しかし「年表」のような形（「デートの日」は他の人にとって大切な意味がないことがしばしばだろつ。それは彼（女）にとつて、意味あるもの大切なことであるが、私たちにとっては形」にのみとまるものであるからだ）「デートの日」共感、あるいは反発を感じるとき、それは連想のためであり、その「デートの日」からはなれてなにかを考えたときに盛り立つのである。

私たちが年表をつくるとき当然なにかをコミュニケーションする。だが年表からはなれてしか共感や反発できないとき、その「コミュニケーション」は、なんの年表（他のなんでも）の意味も有効性も持ちえず、エネルギーはからまわりするか散散する。私たちが行為するとき、その行為自身がアンチのエネルギーなり凝縮のエネルギーなりを呼び起こさなければいけないし、そのように行為すべきなのだ、と私は考える。

年表（引用）を私たち自身が選ぶはずと著しかりである。それは自分の問題であり自分たちの問題であるもの、また、あるべきものを年表（引用）として提出する以外になり。そのときにおいて私たちは年表（引用）で自分を消滅にいられるし、相手を手として認める自分である自分であられ、相互意志伝達としてのコミュニケーションの可能性が生みだされるのだから。

○選ぶという行為こそが、私たちが本来の思想であることは忘れてはならない。本来、思想とは、気取らないし気取れないものはすだ。選ぶとき、どんな意味につけそれは常に自分であり、それ以外のなにものでもなく、選はせるもの、選はせること、それが思想である。曖昧であれば曖昧でよく、曖昧にしていれば曖昧なの

の表現であつたならば、話しが（それは決して話しと言ふものではないが）横に広がるだけであつて、なにもなくなつてしまふ。つねに、次に話すことが、前に話したことと積み重ねでなければならぬ。そうする事によつて各々のレイアウトが、つまり変わつて、また、レイアウト自身の間題もハッキリし、それを克服していくことが可能となります。このように、この台宿は行なわれる。その作業は、写真だけでなく引用文、年表についても同様なものである。

だから、このレイアウト台宿では、写真と写真、引用文と引用文、年表と年表をぶつけないインパクトをさせ、そして、写真と引用文、引用文と年表、写真と年表のインパクトをさせるべきレイアウトをするのです。

このことをレイアウトを行なう

である。
さて、文章の連続した文の性質を記号性と象徴性にわけたとき、年表はより記号性が強いだろうし引用文はより象徴性が強いだろうということが、よくいわれるが、私たちがこの引用文と年表はそのような位置に片付けてはならないと思う。

なぜなら、文の持つ意味とは記号性とか象徴性とかいうところにも、そうわけるところにもないからである。だから、そのようにわけるときを否定したとき、意味となるのか。

選択合宿

選択合宿は、写真選択合宿と引用文選択合宿、年表選択合宿の三つがあります。

そのうち、年表選択合宿は、レイアウト合宿と一緒に行ないます。

参加者は、写真選択合宿においては、本部キャンペーン委員、各地区キャンペーン委員と参加希望者によるものです。引用文、年表選択合宿は、本部、各地区キャンペーン委員合宿とします。

私達が一枚一枚の作品をみる時その一枚の写真に私達のすべてを傾け、一枚の作品に判断を下すこと

が私たちの存在することであり、のではないだろうか。

(2)引用文について

選なき 全体の文をよく眺めポイントをつかみなすことをしなくてははいけな。全体としては、ろくでもない文章を、部分だけ抜きとることを良い文にしてしまふこととか、全体として良いものを部分抜きで悪くしてしまうことは絶対にしてはならない。作者、難読名も記入されるということは、文とそれとも関係があるということとなるのだから

とがそのまま、私達のこれからに對する決意なのです。写真を選ぶことの意味は、私達の価値観が、価値基準が、私達のなかにしっかりと存在していない限り、選ふということとは、不可能なことです。それはそのまま、私たちの毎日の生活、行動の原動力となっているモノ、そのものです。そしてそれは、思想とかその他の言葉で語られているモノなのです。

「状況」一九六八に参加することの意味を自らに問い、主旨を理解し、疑問を、疑問をして、をのまきにせず、問題を明確にし

状況「一九六五におけるレイアウト」は、写真と年表と引用文をやった人達のかかりあいがなかった。このことが、最後に、わりつけ（写真の大きさを決定したり、スペースを定めたりして、本にする基を作成する作業）をする時、出版にする時各々の人達にもうすぐ重荷となった。（五月のキャンベーン総会を参照）

レイアウトは、全日キャンベーン委員、各地区キャンベーン委員で、委員会を構成し、レイアウト・出版に必要な会を行なうていきます。そして、写真班（写真を担当する人達）、引用文班（年表班にわけます。各委員は、一つ一つの班に立候補し、その班で責任をもつてレイアウトを行います。選択会宿（写真・引用文・年表）が終りしたら、各班が任意に動きレイアウトを行ない、各班集まり

きまず。

◆選択合宿

- 1、写真選択合宿（一般公開）
- 2、引用文・年表選択合宿

写真選択の台宿においては、最終的に編集をおこない、決定する時に使用する写真・枚数の二倍後まで選ぶ、引用文の場合に二倍と同じ様に、二倍前後の数量を要とする。年表の場合は、選定宿と編集台宿を一緒におこなう年表だけは先に完成させる。

選択の台宿が終了すると同時に編集をはじめめる。その時には担当班、引用文担当班はそれぞれ分かれて作業をおこなう。その工程において班台同の意見交換を来回となく設け、お互いに意見を進行内容を検討し確認している。最初の班台宿においては、見集された年表を班員全てが見なければならぬ。(下図参照)

十一月
 選択会宿
 編集会宿
 レイアウト完成入
 十二月
 第五十六号の掲載面の都合により全日コンの関連記事は次号に掲載したいと思います
 (編集責任者)

七月下旬
 撮影開始
 「キャンペーン」ア
 ビールのためのパン
 フレッド発行
 第五十五号会報発行
 合宿会場交渉
 第五十七号会報発行
 写真・引用文・年表
 締切

六月
 キャンペーン総会開
 備

五月下旬
 キャンペーン総会開

九月下旬
 九月

八月

経過および予定

A群各班合同の会合
 A群最終的な総会編集会宿
 I群写真担当班
 O群引用文担当班
 ハ群年表担当班

て写真選擇の權を加していたできたという。

全国から集まった数十枚の写真を短期間に選択するのことは大変な作業です。それは単なる作業には終りません。写真選択の具体的な方法は、次の様に行ないます。はじめに、参加者全員が全作品をみます。それから一枚一枚の写真に態度を明らかにしてゆきます。ある写真は私達に語っていることを、私達は把握しなければなりません。意味が明らかになった時、それが私達にとって必要なコトか、不要なコトか、あるいは、全く私達が否定してしまわなければならないコトか、拒絶してしまわなければならないコトか、私達は、合宿において、その都度、態度を明らかにしていなくてはなりません。このように写真を選択していくのは、これからの私達の生活にすべての影響を与えます。

状況は、一九六五と一九六六では、もはや変わっていないとは思いますが、毎日どこか感じていらっは、私達自身の、ものごとに対する考え方をふりかえて見てもいいかと、確かに進んできます。進んだものには、進んだ方法で対処しなければ、その効果そのコトを成した意味は、全くありません。

私達自身の変わっていった過程私達のまわりのではなく、また私達を、そのまま包含していかぬ状況を、私達の中に包含せしめる部分を確立していかなければなりません。

今まで写真に限って述べてきましたが、引用も同様です。ヤナは、時間的な配慮で引用文と年表の宿は、キャンペーン委員会合宿にまじりました。

「狀況」—1966写真・引用文・年表募集中

あなたが撮った写真・あなたの周囲におこった出来事(年表)・あなたが選んだ文章(引用文)で「状況」—1966キャンペーンに参加しよう!

- '65.10～'66.9の間に撮影されたものに限る。
- サイズはキャビネ以上。
- 作品は同じ写真を2枚伸して送って下さい。
(合宿・編集・出版の際使用するので2枚必要です)
- テーマ・キャプション・データ等は明記しなくても構いません。
- 作品は一人何点でも構いません。
- 締切日-'66.9.30消印有効

○引用文は '95.10～'66.9の間に、発行された、新聞・雑誌・その他印刷物からピックアップして下さい。

○年表は65.10～'66.9の間におこった出来事(政治、経済・社会・芸術関係等)を新聞・雑誌・その他の発行物からピックアップして下さい。

○引用文・年表をピックアップする時、新聞・雑誌・その他の印刷物は誌名、発行日・また執筆者名があれば記入の事

○年○月○日号 誌名
「題名」執筆者名

○所用文・年表は原稿用紙に書き移すか、
原文をそのまま切りぬいて送って下さい。]

○締切日'66.9.30.消印有効

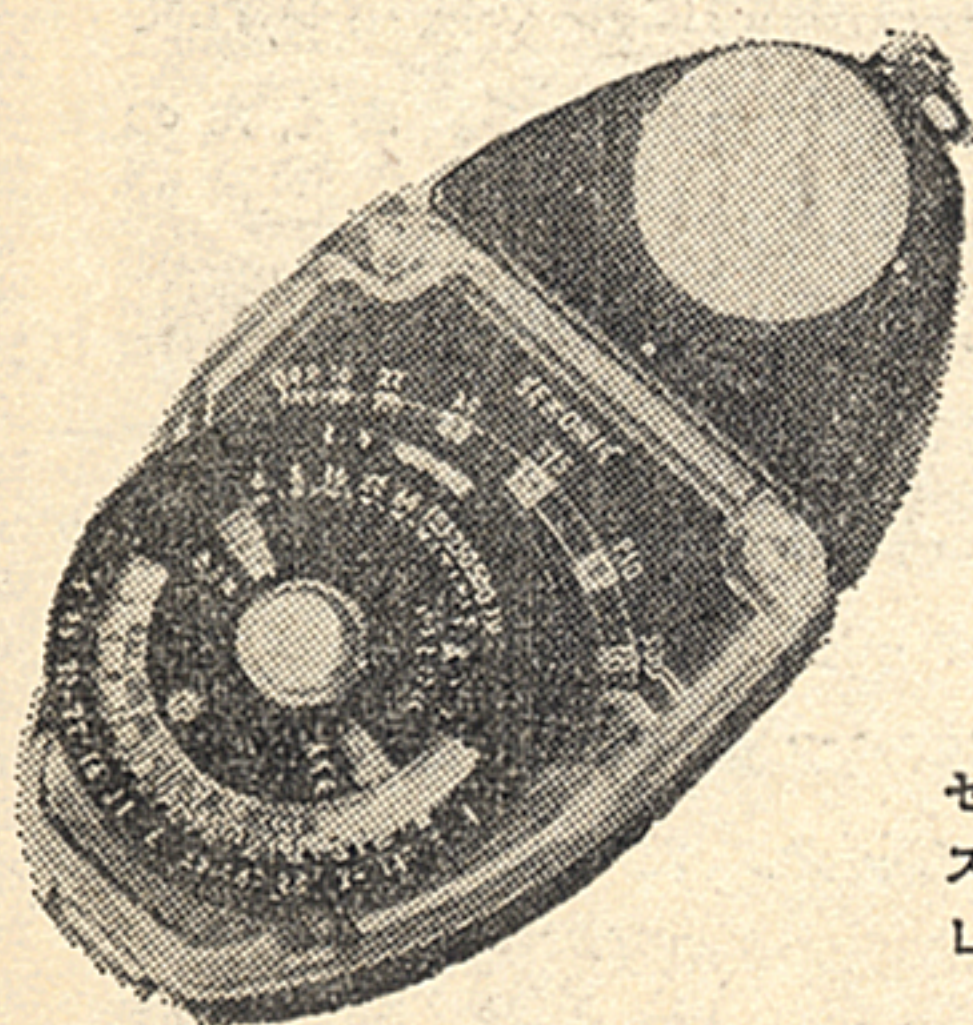
送り先は各地区キャブページ委員会、または、下記宛

全日・本部キャンペーン委員会

写真編集担当 幡野 弘 武蔵野市吉祥寺本町
引用文・年表担当 阿部 憲一 東京都中野区新山通

カラー撮影に威力を発揮する

七匹半 露出計



セコニック
スタジオデラックス
L-28c

発売元 株式会社 コパル

状況——一九六五

における問題点

その状況一九六五の仕
事へ全国が動き出す時に「状
況一九六五」の問題を掲げられ
は、全日本学生写真連盟の
その他によるもの(考え)とい
うことだ。

「状況一九六五」は、私達の連
盟にとって画期的なものでした。
はじめて連盟として、キャンパ
スとして、本格的な写真運動とい
うことを始めた運動でした。
写真運動というものは、自分が
ホントに感じた事、自分が真に
現実と向きあう時、自分が写真
は生かれないという原則にそった
運動であり、それは昨年から飛
躍的な発展を遂げ、全国的な事
を行なったのです。

問題のなかでも種々の問題を集約
して、その一つとして、私達
の連盟として、写真運動とい
うことを始めた運動でした。
写真運動というものは、自分が
ホントに感じた事、自分が真に
現実と向きあう時、自分が写真
は生かれないという原則にそった
運動であり、それは昨年から飛
躍的な発展を遂げ、全国的な事
を行なったのです。

「状況一九六五」は、私達の連
盟にとって画期的なものでした。
はじめて連盟として、キャンパ
スとして、本格的な写真運動とい
うことを始めた運動でした。
写真運動というものは、自分が
ホントに感じた事、自分が真に
現実と向きあう時、自分が写真
は生かれないという原則にそった
運動であり、それは昨年から飛
躍的な発展を遂げ、全国的な事
を行なったのです。

「状況一九六五」は、私達の連
盟にとって画期的なものでした。
はじめて連盟として、キャンパ
スとして、本格的な写真運動とい
うことを始めた運動でした。
写真運動というものは、自分が
ホントに感じた事、自分が真に
現実と向きあう時、自分が写真
は生かれないという原則にそった
運動であり、それは昨年から飛
躍的な発展を遂げ、全国的な事
を行なったのです。

「状況一九六五」は、私達の連
盟にとって画期的なものでした。
はじめて連盟として、キャンパ
スとして、本格的な写真運動とい
うことを始めた運動でした。
写真運動というものは、自分が
ホントに感じた事、自分が真に
現実と向きあう時、自分が写真
は生かれないという原則にそった
運動であり、それは昨年から飛
躍的な発展を遂げ、全国的な事
を行なったのです。

歴史はなにを 教えるかI 出版

現在、我々の現実、たとえ我
々が何と批判しようと、暗くし
よう、いかにそれを拒絶しても
我々の意識を通じて、潜在的に
我々へそそげようとする。

「おめえへそそげようとする」
の力エルのよ、また「水虫出
たぞ」のよ、個人が何と云
うが、現実はずっとそこ、個人
の思考とは関係なく、人間を
ていく。気がついた時は個人な
どというものは、もはや存在す
がきみな底を流れていく現
実を見出すだけである。いや、
気がつかないかも知れない、そ
して現実、我々の反抗を温かい目
で見守りながら、若い者はいな
なと云っているかも知れない。
家族は、人間の思想を形づくる
最小単位の社会である。

「おめえへそそげようとする」
の力エルのよ、また「水虫出
たぞ」のよ、個人が何と云
うが、現実はずっとそこ、個人
の思考とは関係なく、人間を
ていく。気がついた時は個人な
どというものは、もはや存在す
がきみな底を流れていく現
実を見出すだけである。いや、
気がつかないかも知れない、そ
して現実、我々の反抗を温かい目
で見守りながら、若い者はいな
なと云っているかも知れない。
家族は、人間の思想を形づくる
最小単位の社会である。

「おめえへそそげようとする」
の力エルのよ、また「水虫出
たぞ」のよ、個人が何と云
うが、現実はずっとそこ、個人
の思考とは関係なく、人間を
ていく。気がついた時は個人な
どというものは、もはや存在す
がきみな底を流れていく現
実を見出すだけである。いや、
気がつかないかも知れない、そ
して現実、我々の反抗を温かい目
で見守りながら、若い者はいな
なと云っているかも知れない。
家族は、人間の思想を形づくる
最小単位の社会である。

「おめえへそそげようとする」
の力エルのよ、また「水虫出
たぞ」のよ、個人が何と云
うが、現実はずっとそこ、個人
の思考とは関係なく、人間を
ていく。気がついた時は個人な
どというものは、もはや存在す
がきみな底を流れていく現
実を見出すだけである。いや、
気がつかないかも知れない、そ
して現実、我々の反抗を温かい目
で見守りながら、若い者はいな
なと云っているかも知れない。
家族は、人間の思想を形づくる
最小単位の社会である。

「おめえへそそげようとする」
の力エルのよ、また「水虫出
たぞ」のよ、個人が何と云
うが、現実はずっとそこ、個人
の思考とは関係なく、人間を
ていく。気がついた時は個人な
どというものは、もはや存在す
がきみな底を流れていく現
実を見出すだけである。いや、
気がつかないかも知れない、そ
して現実、我々の反抗を温かい目
で見守りながら、若い者はいな
なと云っているかも知れない。
家族は、人間の思想を形づくる
最小単位の社会である。

班会合宿における この本のつかい方

1、おのおのの登場人物について
彼の行動について、時代背景と
そこにおける彼の写真を、班員
のおのおの興味のある面から、分
担して調べる。その調べる、政治、
経済、社会、芸術について、年表
をつくるもの。

2、例として、アシュの住に出てく
るW・ベンヤミンの「アウラ」に
ついて、様々な事象を上げ、それ
を班会で討論していくような方法
もある。

1、おのおのの登場人物について
彼の行動について、時代背景と
そこにおける彼の写真を、班員
のおのおの興味のある面から、分
担して調べる。その調べる、政治、
経済、社会、芸術について、年表
をつくるもの。

2、例として、アシュの住に出てく
るW・ベンヤミンの「アウラ」に
ついて、様々な事象を上げ、それ
を班会で討論していくような方法
もある。

1、おのおのの登場人物について
彼の行動について、時代背景と
そこにおける彼の写真を、班員
のおのおの興味のある面から、分
担して調べる。その調べる、政治、
経済、社会、芸術について、年表
をつくるもの。

2、例として、アシュの住に出てく
るW・ベンヤミンの「アウラ」に
ついて、様々な事象を上げ、それ
を班会で討論していくような方法
もある。

1、おのおのの登場人物について
彼の行動について、時代背景と
そこにおける彼の写真を、班員
のおのおの興味のある面から、分
担して調べる。その調べる、政治、
経済、社会、芸術について、年表
をつくるもの。

2、例として、アシュの住に出てく
るW・ベンヤミンの「アウラ」に
ついて、様々な事象を上げ、それ
を班会で討論していくような方法
もある。

1、おのおのの登場人物について
彼の行動について、時代背景と
そこにおける彼の写真を、班員
のおのおの興味のある面から、分
担して調べる。その調べる、政治、
経済、社会、芸術について、年表
をつくるもの。

2、例として、アシュの住に出てく
るW・ベンヤミンの「アウラ」に
ついて、様々な事象を上げ、それ
を班会で討論していくような方法
もある。

関東例会開かる

写真家としての我々がいかにか
つていたか、そして今、我々が
何かに自分自身を消すことな
い、そして有効なのは、我々が
我々自身の回を現実の中心でそ
れをどうにかし得るスケールで、
はじめた時、やっとなかなか
は、そしてそこにおいてのみ、現
実の真実が自己を認識する写
真となり得、現実に対する唯一
の有効な武器となり得る。

写真家としての我々がいかにか
つていたか、そして今、我々が
何かに自分自身を消すことな
い、そして有効なのは、我々が
我々自身の回を現実の中心でそ
れをどうにかし得るスケールで、
はじめた時、やっとなかなか
は、そしてそこにおいてのみ、現
実の真実が自己を認識する写
真となり得、現実に対する唯一
の有効な武器となり得る。

写真家としての我々がいかにか
つていたか、そして今、我々が
何かに自分自身を消すことな
い、そして有効なのは、我々が
我々自身の回を現実の中心でそ
れをどうにかし得るスケールで、
はじめた時、やっとなかなか
は、そしてそこにおいてのみ、現
実の真実が自己を認識する写
真となり得、現実に対する唯一
の有効な武器となり得る。

写真家としての我々がいかにか
つていたか、そして今、我々が
何かに自分自身を消すことな
い、そして有効なのは、我々が
我々自身の回を現実の中心でそ
れをどうにかし得るスケールで、
はじめた時、やっとなかなか
は、そしてそこにおいてのみ、現
実の真実が自己を認識する写
真となり得、現実に対する唯一
の有効な武器となり得る。

写真家としての我々がいかにか
つていたか、そして今、我々が
何かに自分自身を消すことな
い、そして有効なのは、我々が
我々自身の回を現実の中心でそ
れをどうにかし得るスケールで、
はじめた時、やっとなかなか
は、そしてそこにおいてのみ、現
実の真実が自己を認識する写
真となり得、現実に対する唯一
の有効な武器となり得る。

人物なら
フジカラーです

フジカラーならデリケートな肌の
色を生き生きととらえます。頬の
色に血がかよっているのです。大
切な記録はフジカラーでうつして
フジカラープリントしてください。
鮮やかさ…トーンの美しさは段違
いです。天気が悪いから、カメラ
がどうも…といった方も、あなた
の目でカラーの美しさを確かめて
ください。



カラープリントに
フジカラー N100
35mm 12枚撮 290円・20枚撮 420円
36枚撮 580円 (各現像料別)
6×6cm 6枚撮 330円・12枚撮 450円

カラーズライドに
フジカラー R100
35mm 20枚撮 740円・36枚撮 1,100円 (各現像料込)

富士フイルム

★学生割引—学生のための下記割引制度をご利用ください。